

## 第 57 回 中小企業景況調査

(平成 30 年 4 月～6 月)

《 調査結果の要約 》

需要の停滞感はあるものの、全業種の景況は回復傾向にある  
(設備投資の取組みも拡大している)

業種別にみると、下記の通りです。

3 ヶ月前と比べて好転 ↑ : 製造業、小売業 (買回品)、飲食業、サービス業

3 ヶ月前と比べて悪化 ↓ : 建設業、小売業 (最寄品)

1. 全業種の業況判断DIは▲3.6 (前期比+7.2 ポイント) と回復傾向にあるものの、3 ヶ月先は▲14.4 ポイントと悪化の見通しです。
2. 設備投資件数は 24 件 (3 ヶ月前に比べて+8 件) となっています。その上位内訳はOA機器 9 件、機械設備 6 件、建物 6 件となっています。
3. 経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、①需要の停滞 23% (50 社) が最も多く、②利用者ニーズの変化 17% (37 社)、③人件費以外の経費の増加 16% (35 社)、④単価の低下・上昇難 15% (33 社)、⑤人件費の増加 12% (25 社) が続いています。

## &lt;国内および神奈川県の中企業の景況トピックス&gt;

・全国の中企業の景況は、一部業種に一服感はみられるものの、基調としては緩やかに改善している。

- (1) 2018 年 4～6 月の全産業の景況判断DIは、▲14.0 (前期差 0.1 ポイント減) となり、3 期ぶりに低下した。
- (2) 製造業の景況判断DIは、▲8.5 (前期差 1.6 ポイント増) となり、2 期ぶりに上昇した。業種別に見ると、鉄鋼・非鉄金属、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石製品、家具・装備品、機械器具、輸送用機械器具、印刷、木材・木製品の 8 業種で上昇し、化学、電気・情報通信機械器具・電子部品、金属製品、その他の製造業、食料品、繊維工業の 6 業種で低下した。非製造業の景況判断DIは、▲15.9 (前期差 0.6 ポイント減) と 2 期ぶりに低下した。産業別に見ると、卸売業、サービス業、建設業で上昇し、小売業で低下した。

・神奈川県中企業の総合の景況判断DIは、前期比 3.2 ポイント上昇の▲15.9 となった。経営状況では、売上DIは前期比 4.2 ポイント上昇の▲1.4、採算DIは前期比 3.7 ポイント上昇の▲7.4 となった。今後の業況DIを見ると、3 ヶ月後は現在比 3.2 ポイント低下の▲19.1、半年後は現在比 1.9 ポイント低下の▲17.8 を見込んでいる。

《 調査概要 》

1. 調査時点：平成 30 年 7 月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から 163 社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	17	26	29	40	35	163
回答数	13	10	20	17	24	27	111
回答率	81.3%	58.8%	76.9%	58.6%	60.0%	77.1%	68.1%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目：

（1）D I の状況について

① 自社の状況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数

（2）設備投資について

（3）経営上の問題について

5. 調査データについて

（1）D I : Diffusion Index（ディフュージョンインデックス・景気動向指数）の略

各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

（2）データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう 3 ヶ月の見通しを対比したものです。

・四半期：1 年の 4 分の 1、すなわち「3 ヶ月間」

・前期比：3 ヶ月前との比較

・前年同期比：1 年前との比較

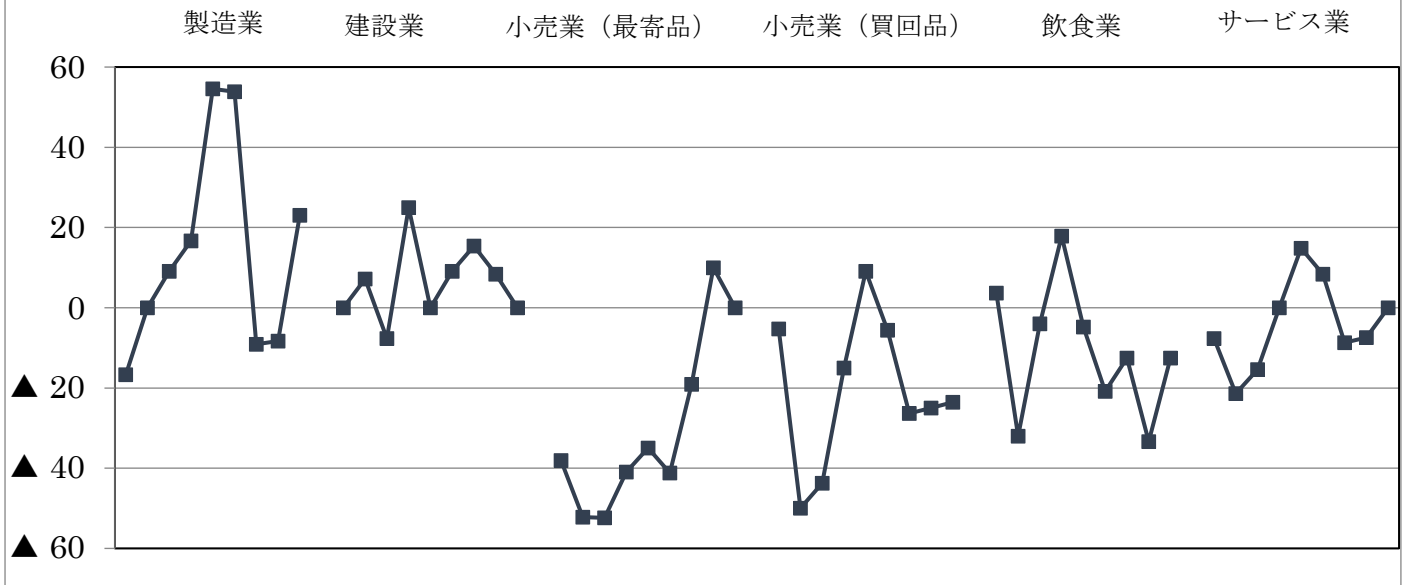
< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

$$\begin{aligned}
 \text{D I} &= +50 - 30 \\
 &= +20
 \end{aligned}$$



### 業種別 業況判断DIの推移 (H 28年 4-6 月期~H 30年 4-3 月期)

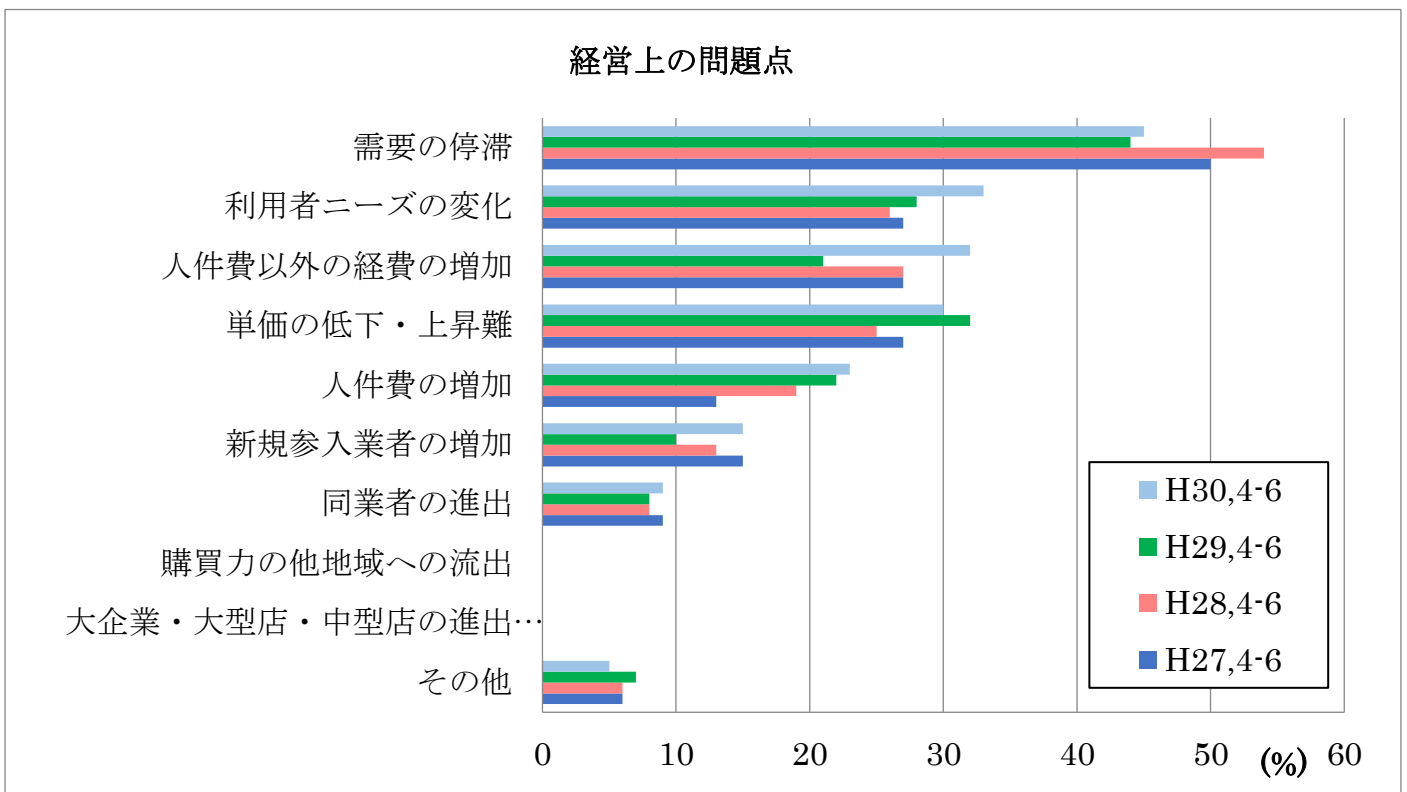


#### □設備投資の動向

- ・設備投資件数は24件（前期比+8件）となっています。その上位内訳はOA機器9件、機械設備6件、建物6件、車両運搬具3件です。

#### □経営上の問題点

- ・経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞 23%（50社）が最も多く、次いで②利用者ニーズの変化 17%（37社）、③人件費以外の経費の増加 16%（35社）、④単価の低下・上昇難 15%（33社）、⑤人件費の増加 12%（25社）となっています。

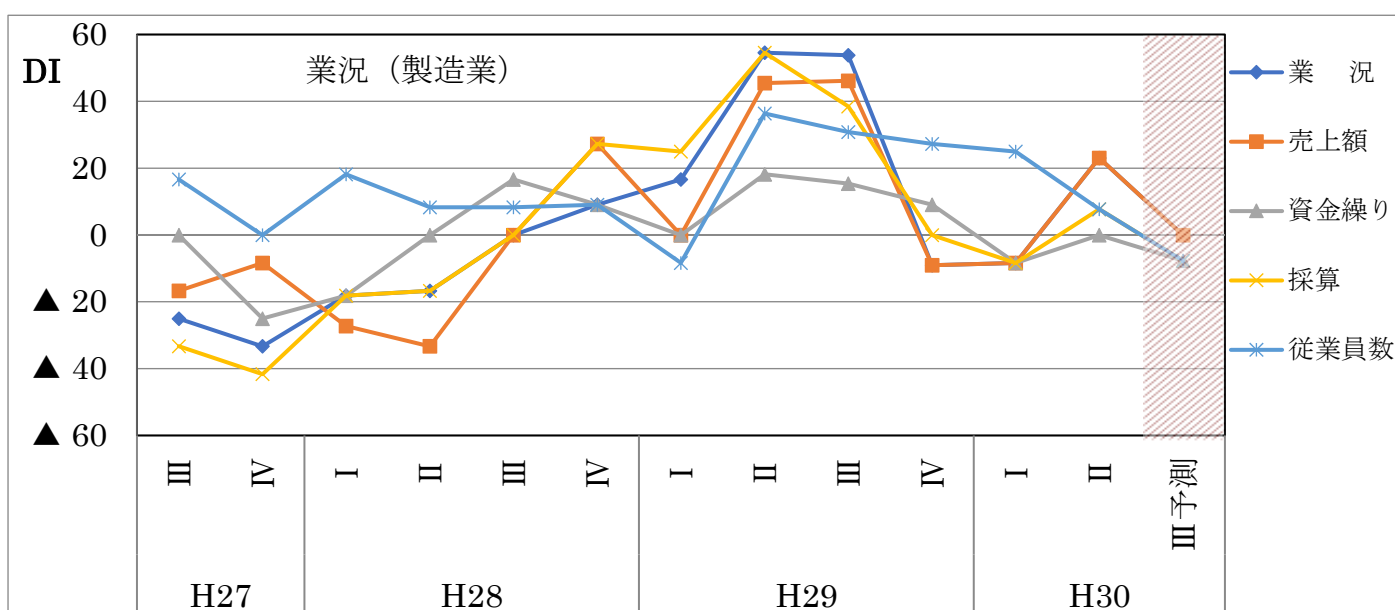


## II. 業種別

### 1. 製造業

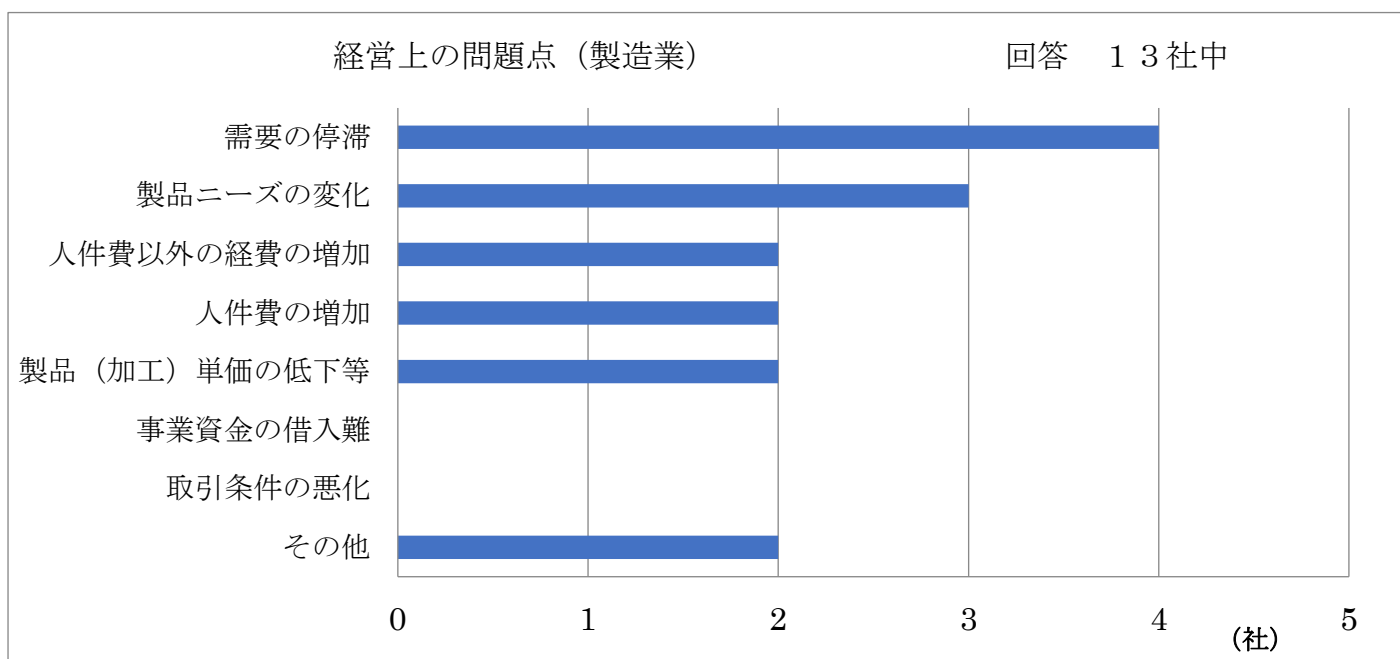
#### □業況D I

- ・業況判断D Iは、+23.1（前期比+31.4ポイント）と大幅な上昇となっているが、3ヶ月先は±0ポイントと横ばいの見通しです。
- ・売上D Iは、+23.1（前期比+31.4ポイント）と大幅な上昇となっているが、3ヶ月先は±0ポイントと横ばいの見通しです。
- ・資金繰りD Iは、±0（前期比+8.3ポイント）と改善が進んだが、3ヶ月先は再び▲7.7ポイントでマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・採算D Iは、+7.7（前期比+16.0ポイント）と改善が進んだが、3ヶ月先は再び▲7.7ポイントでマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・従業員数D Iは、+7.7（前期比▲17.3ポイント）とマイナス幅が拡大しているが、3ヶ月先は▲7.7ポイントでマイナス幅が拡大する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は、OA機器、車両運搬具、建物が各1件ずつです。

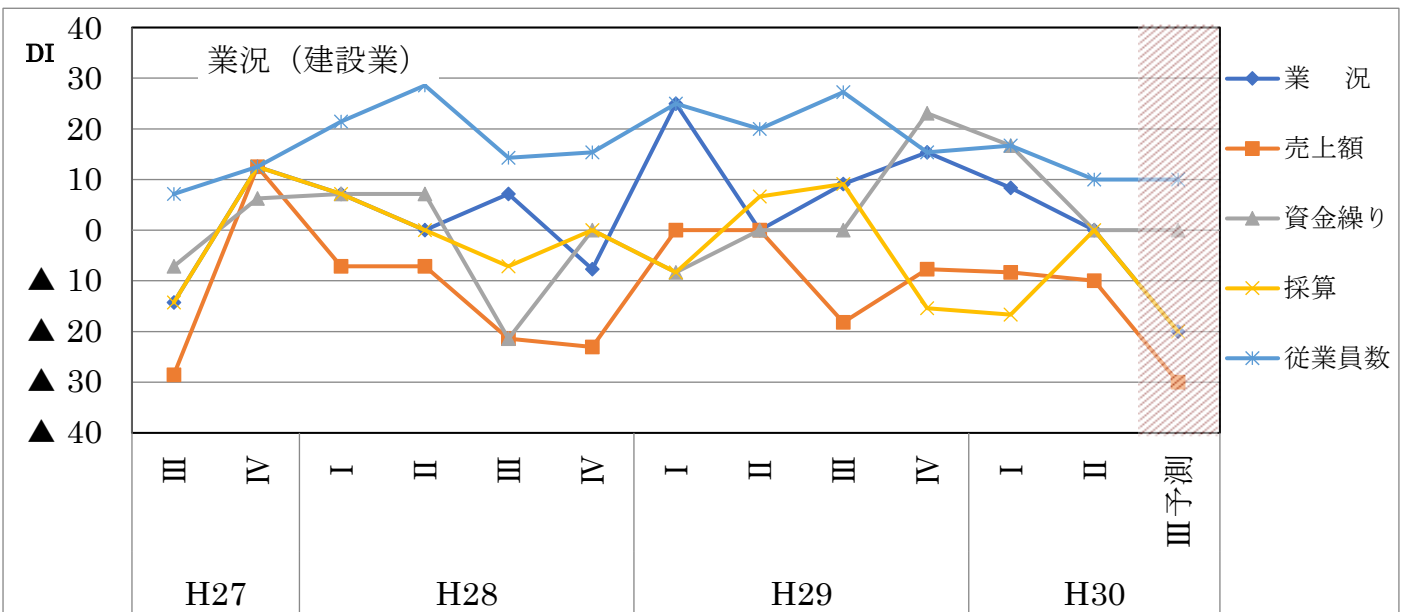
#### □経営上の問題点



## 2、建設業

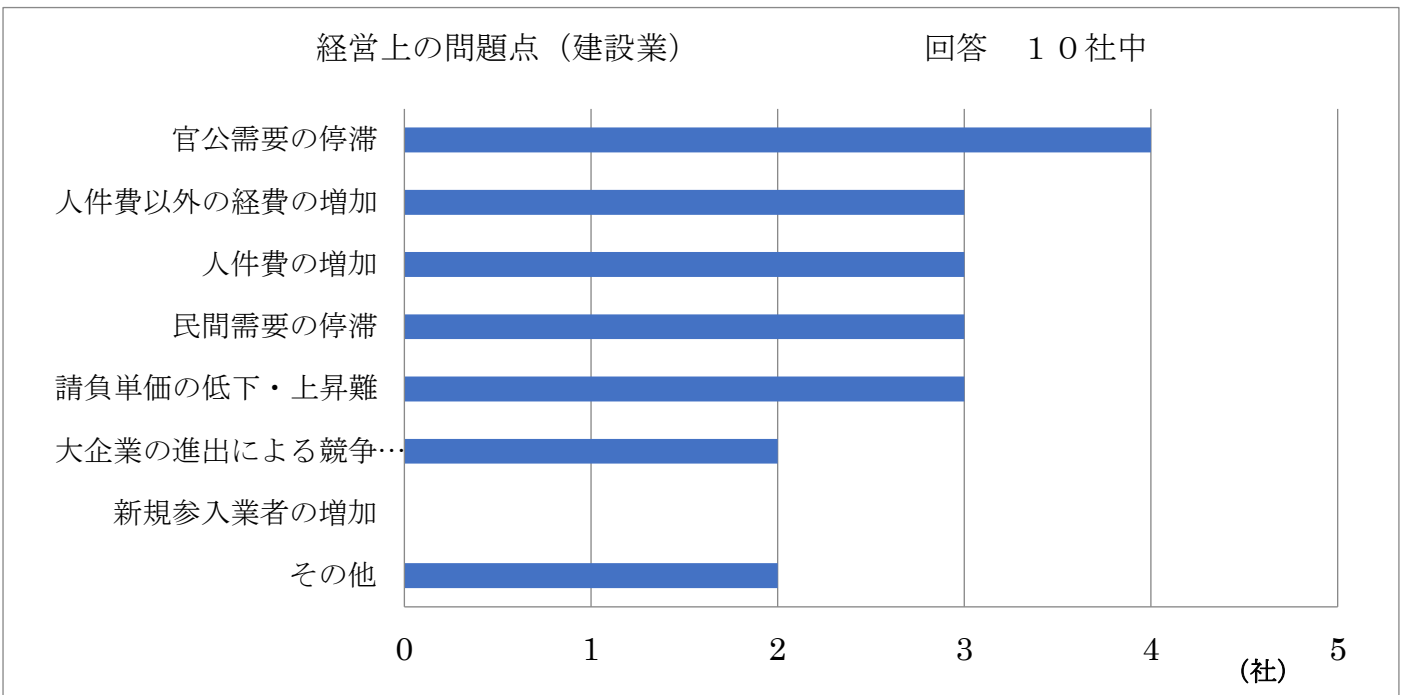
### □業況D I

- ・景況判断D Iは、±0（前期比▲8.3ポイント）とプラス幅が減少しており、3ヶ月先は▲20.0ポイントで更に悪化する見通しです。
- ・売上D Iは、▲10.0（前期比▲1.7ポイント）とマイナス幅が拡大していますが、3ヶ月先は▲30.0ポイントで更に悪化する見通しです。
- ・資金繰りD Iは、±0（前期比▲16.7ポイント）でプラス幅が大幅に減少していますが、3ヶ月先も±0ポイントで横ばいの見通しです。
- ・採算D Iは、±0（前期比+16.7ポイント）で改善が進んでいるものの、3ヶ月先は▲20.0ポイントで悪化する見通しです。
- ・従業員数D Iは、+10.0（前期比▲6.7ポイント）でプラス幅が減少していますが、3ヶ月先は+10ポイントで横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は、車両運搬具1件です。

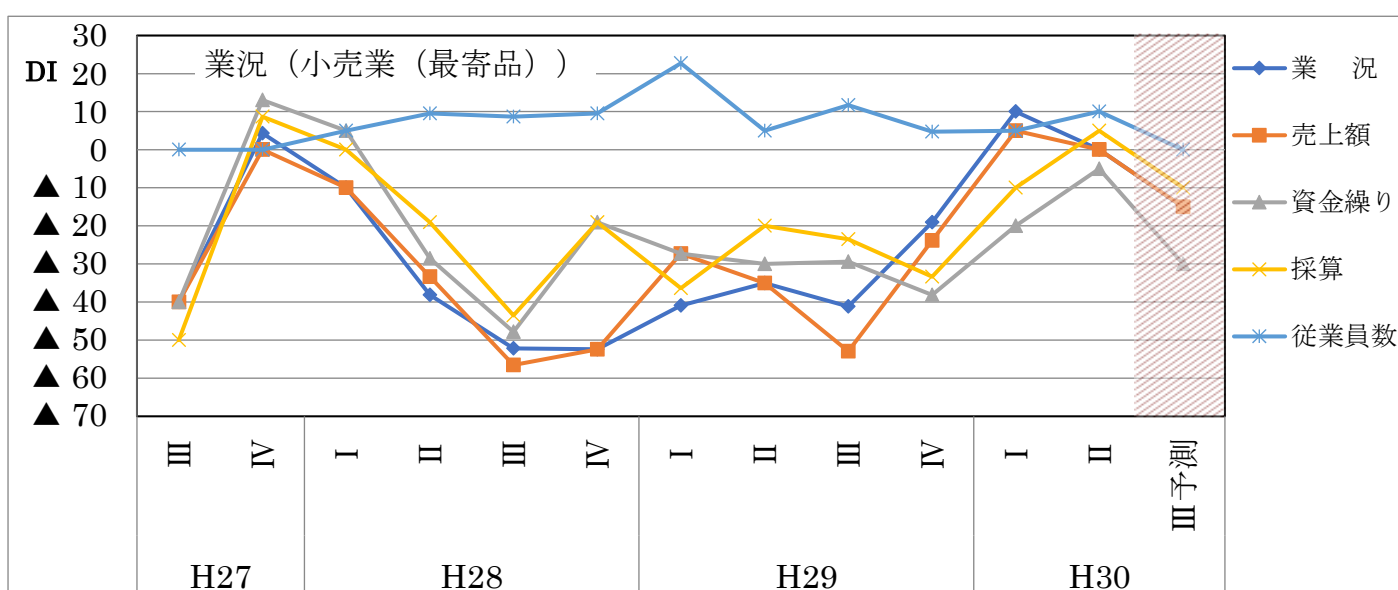
□経営上の問題点



### 3. 小売業（最寄品）

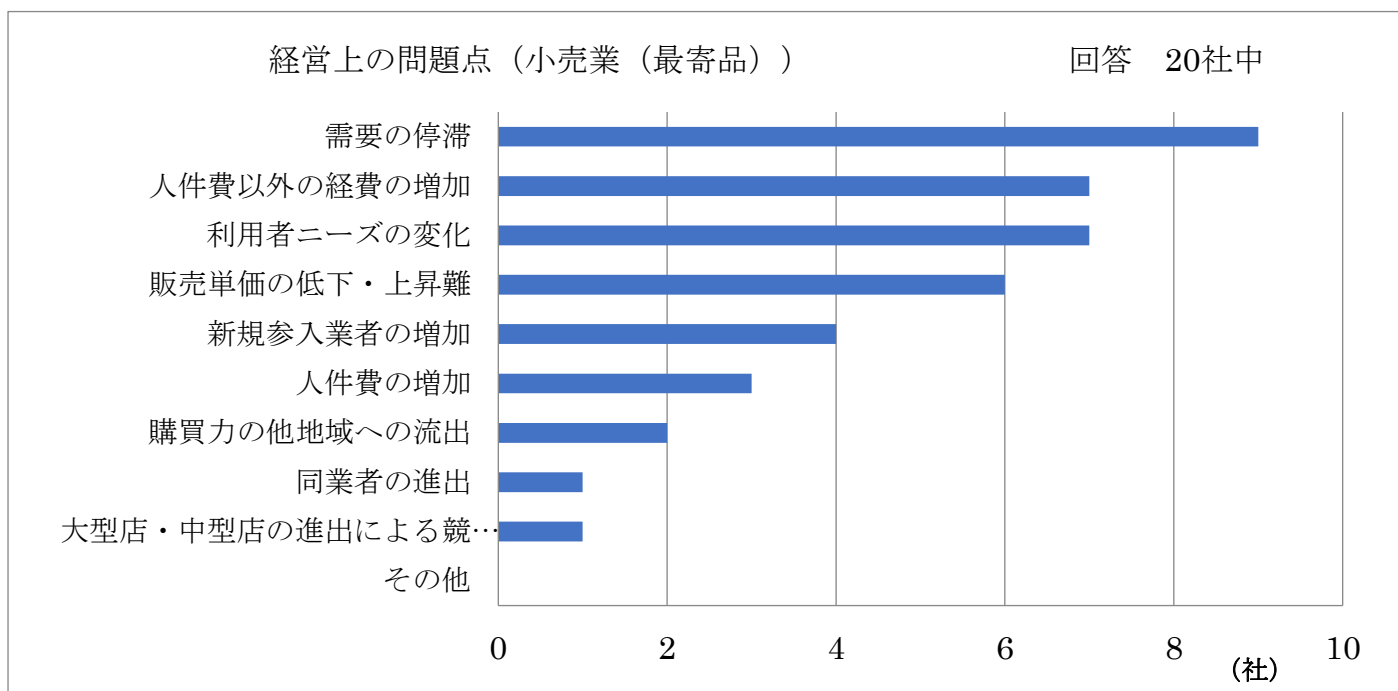
#### □業況D I

- ・景況判断D Iは、±0（前期比▲10.0ポイント）と悪化していますが、3ヶ月先は▲15.0ポイントで更にマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・売上D Iは、±0（前期比▲5.0ポイント）で悪化していますが、3ヶ月先は▲15.0ポイントで更にマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・資金繰りD Iは、▲5.0（前期比+15.0ポイント）と改善していますが、3ヶ月先は▲30.0ポイントで更にマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・採算D Iは、+5.0（前期比+5.0ポイント）と改善していますが、3ヶ月先は▲10.0ポイントでプラスからマイナスに転じる見通しです。
- ・従業員数D Iは、+10.0（前期比+5.0ポイント）と改善していますが、3ヶ月先は±0ポイントで横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は、OA機器3件、機械設備3件、建物1件です。

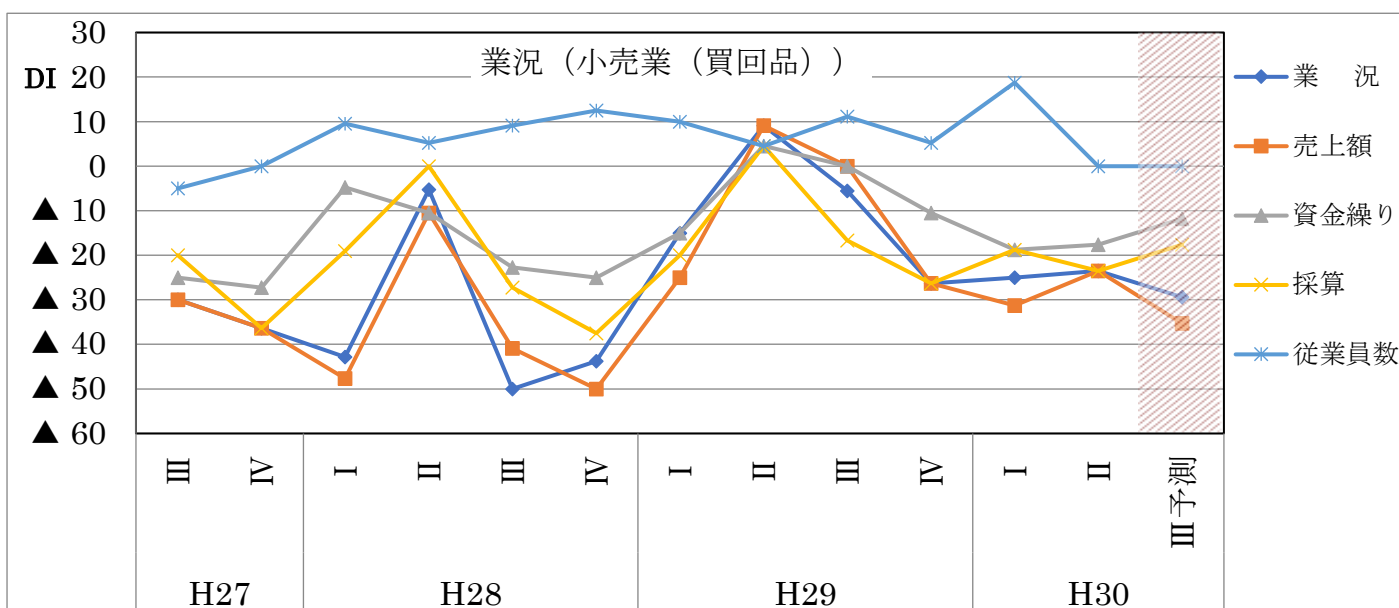
#### □経営上の問題点



#### 4、小売業（買回品）

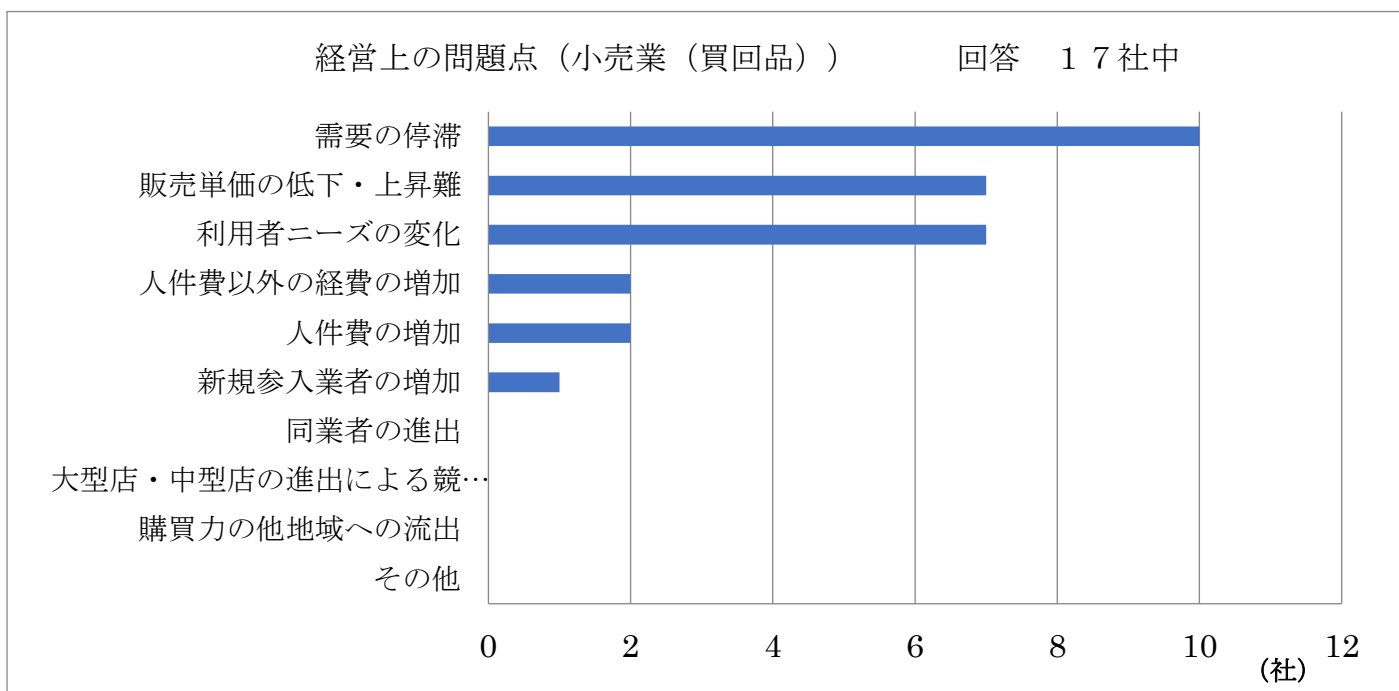
##### □業況D I

- ・業況判断D Iは、▲23.5（前期比+1.5ポイント）でやや改善していますが、3ヶ月先は▲29.4ポイントでプラスからマイナスに転じる見通しです。
- ・売上D Iは、▲23.5（前期比+7.8ポイント）でやや改善していますが、3ヶ月先は▲35.3ポイントでプラスから大幅なマイナスに転じる見通しです。
- ・資金繰りD Iは、▲17.6（前期比+1.2ポイント）でやや改善しており、3ヶ月先は▲11.8ポイントでマイナス幅は縮小する見通しです。
- ・採算D Iは、▲23.5（前期比▲4.7ポイント）でマイナス幅が拡大していますが、3ヶ月先は▲17.6ポイントでマイナス幅は縮小する見通しです。
- ・従業員数D Iは、±0（前期比▲18.8ポイント）でプラスが大幅に縮小していますが、3ヶ月先は±0ポイントで横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は、建物の1件です。

##### □経営上の問題点

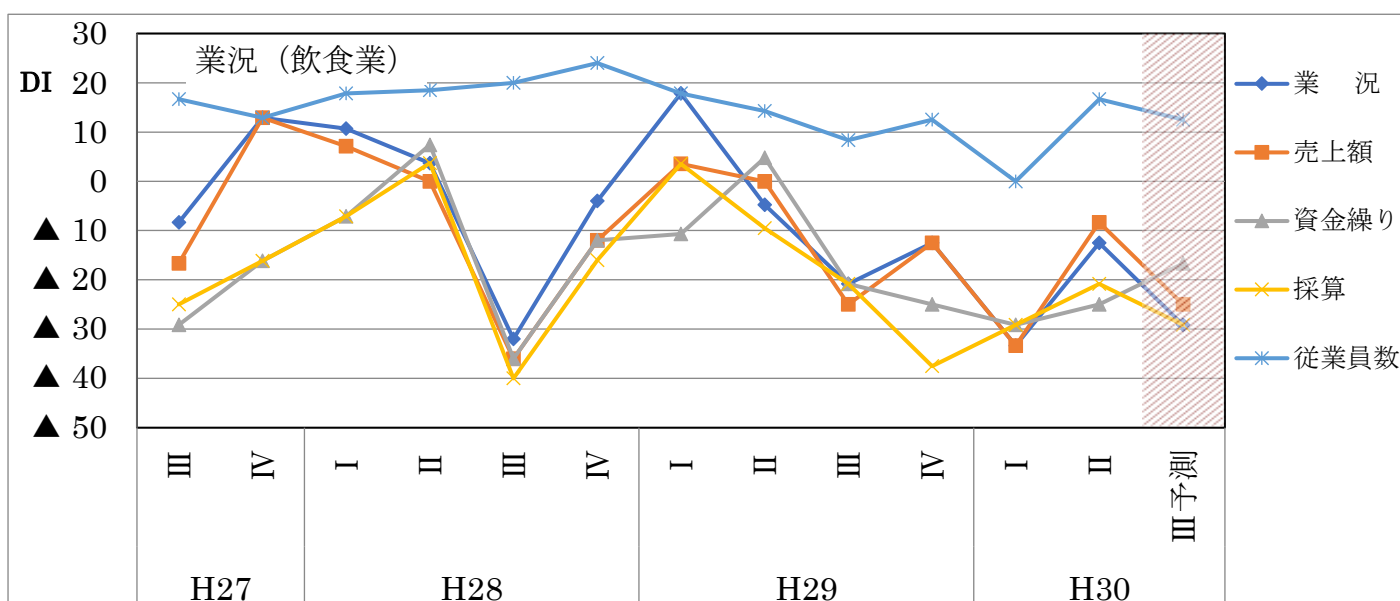




## 5、飲食業

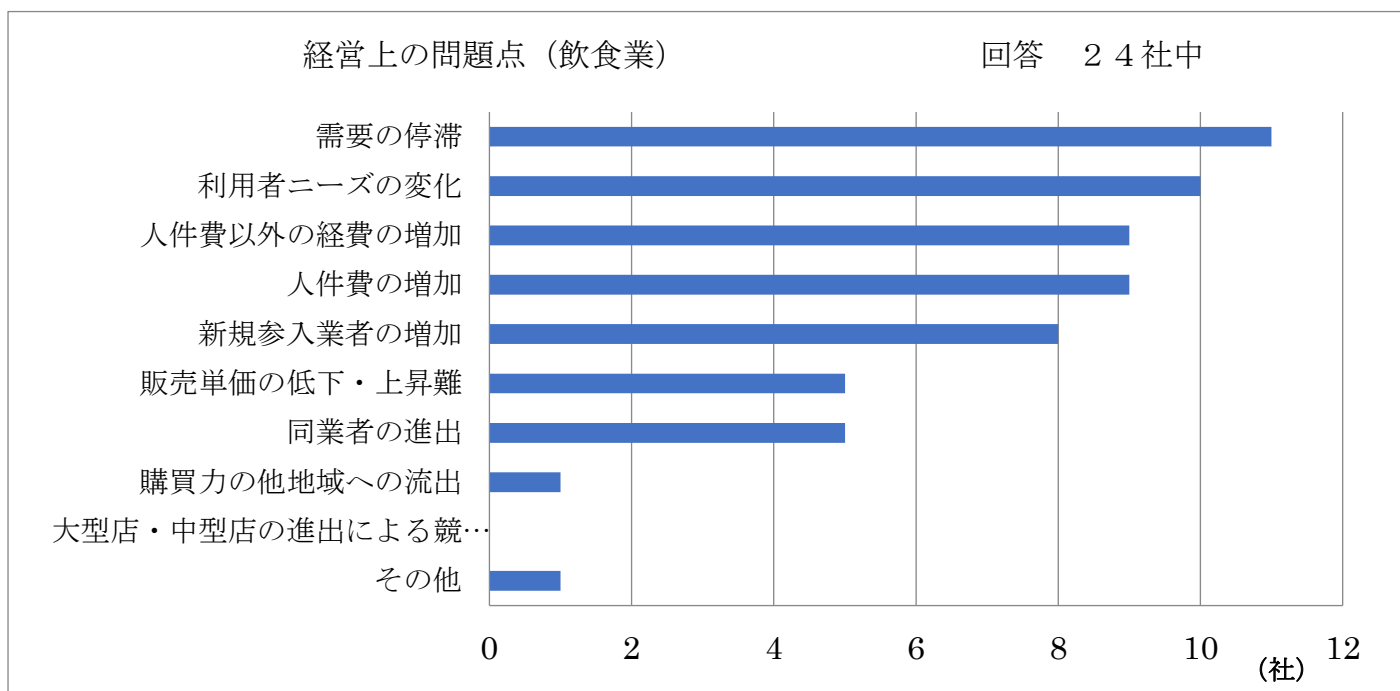
### □業況D I

- ・業況判断D Iは、▲12.5（前期比+20.8ポイント）とマイナス幅が縮小しましたが、3ヶ月先は▲29.2ポイントでマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・売上D Iは、▲8.3（前期比+25.0ポイント）とマイナス幅が大幅に縮小しましたが、3ヶ月先は▲25.0ポイントでマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・資金繰りD Iは、▲25.0（前期比+4.2ポイント）とやや改善していますが、3ヶ月先は▲16.7ポイントでマイナス幅を改善できる見通しです。
- ・採算D Iは、▲20.8（前期比+8.4ポイント）と改善していますが、3ヶ月先は▲29.2ポイントとマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・従業員数D Iは、+16.7（前期比+16.7ポイント）とプラスが拡大していますが、3ヶ月先は+12.5ポイントでプラス幅が若干縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は、OA機器 2 件、機械設備 1 件、車両運搬具 1 件、建物 1 件です。

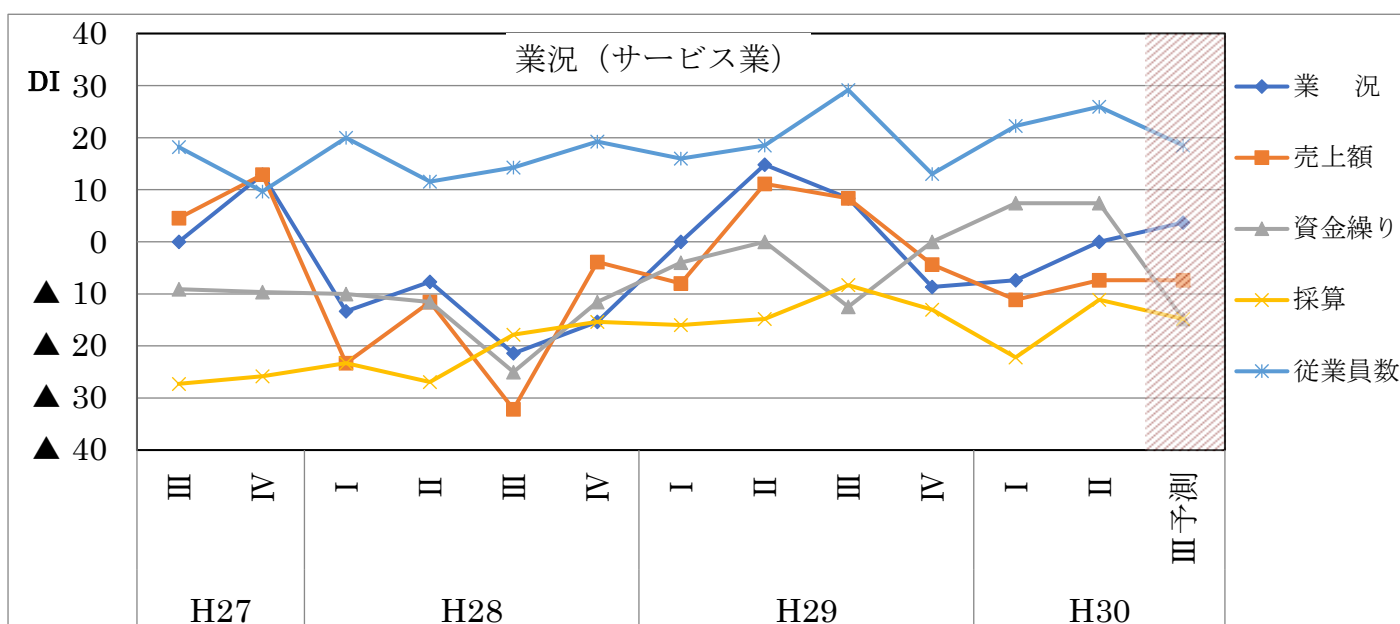
### □経営上の問題点



## 6、サービス業

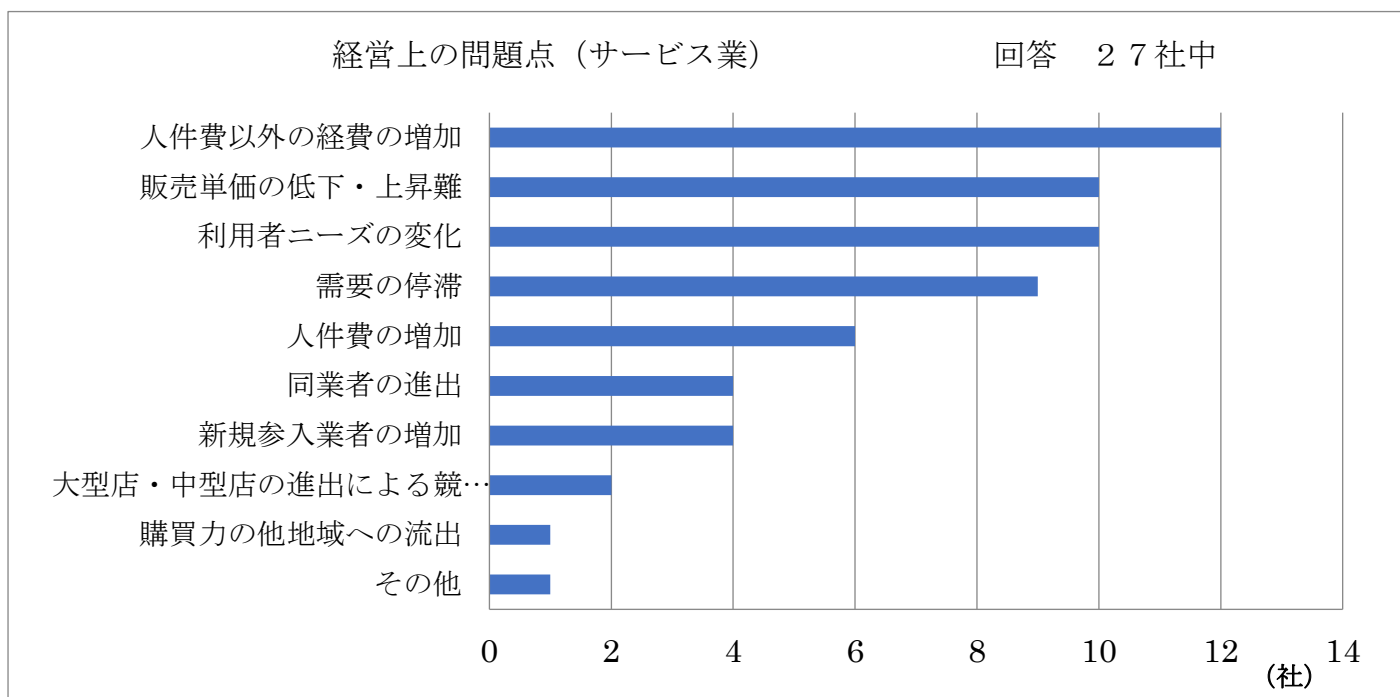
### □業況D I

- ・業況判断D Iは、±0（前期比+7.4ポイント）と改善が進んでいるが、3ヶ月先は+3.7ポイントと更にプラス幅が拡大する見通しです。
- ・売上D Iは、▲7.4（前期比+3.7ポイント）と改善が進んでいるが、3ヶ月先も▲7.4ポイントで現状維持ながら改善が進む見通しです。
- ・資金繰りD Iは、+7.4（前期比±0ポイント）で現状維持となっているが、3ヶ月先は▲14.8ポイントでプラスからマイナスに転じる見通しです。
- ・採算D Iは、▲11.1（前期比+11.1ポイント）とマイナス幅が縮小しているが、3ヶ月先は▲14.8ポイントとマイナス幅が拡大する見通しです。
- ・従業員数D Iは、+25.9（前期比+3.7ポイント）とプラス幅が拡大していますが、3ヶ月先は+18.5ポイントとプラス幅が縮小する見通しです。

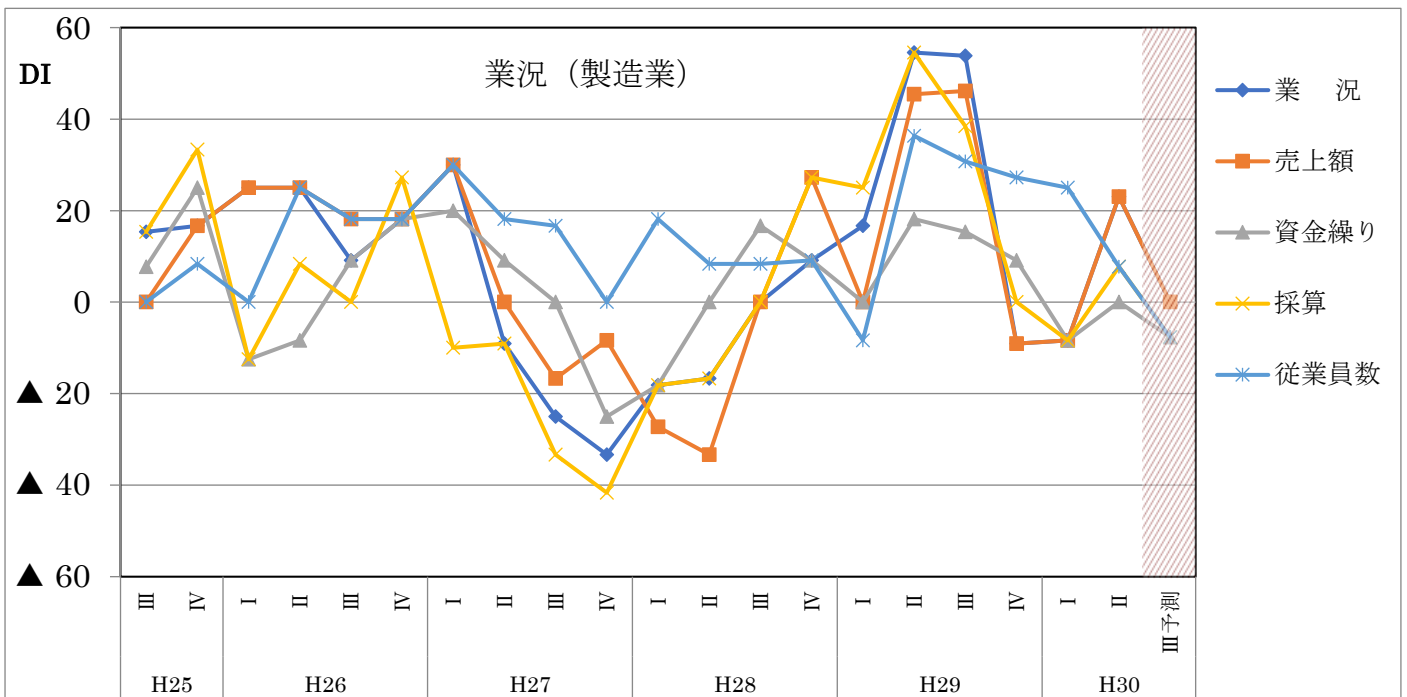
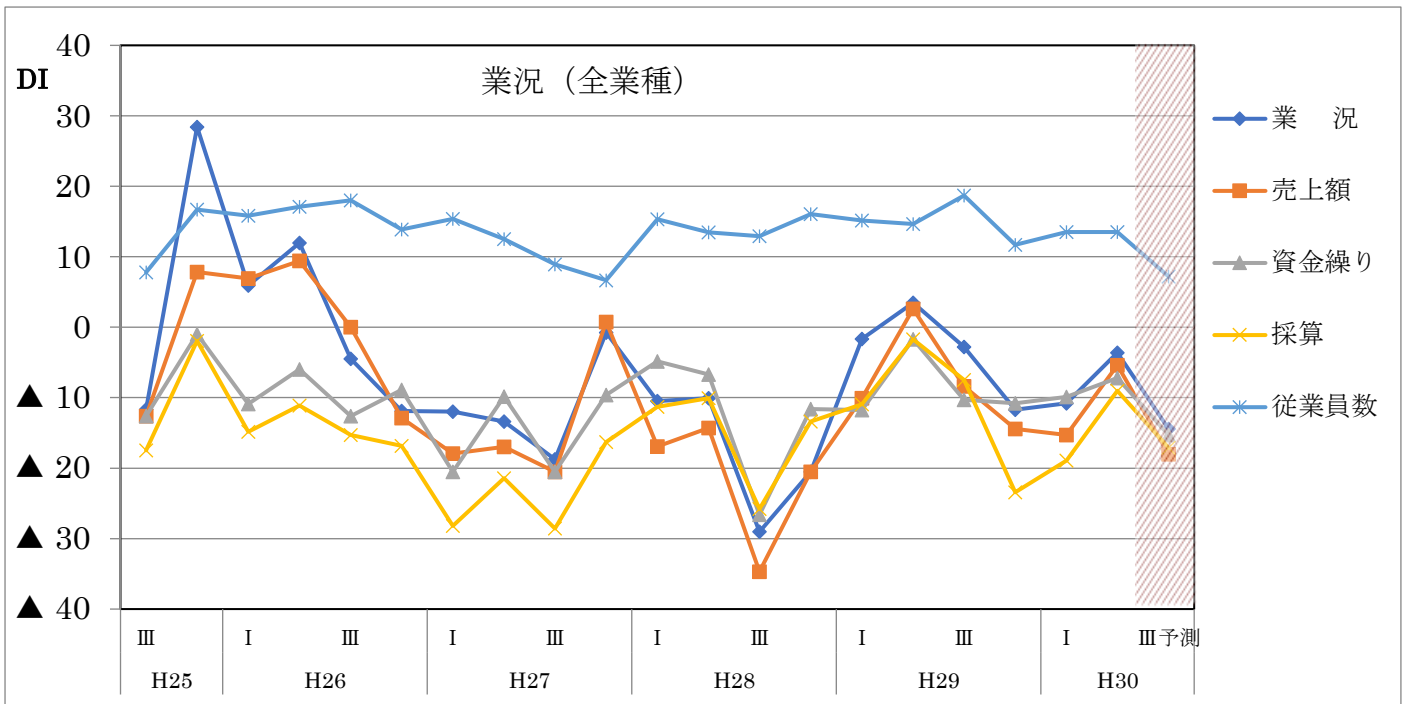


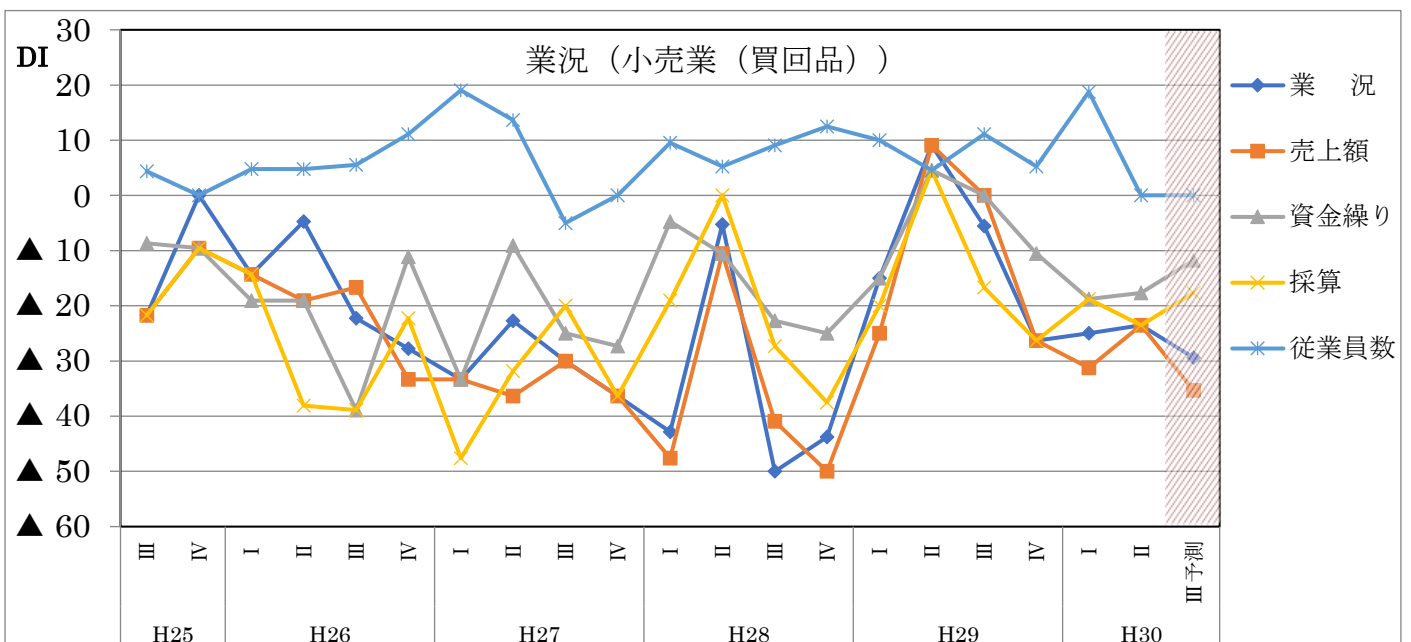
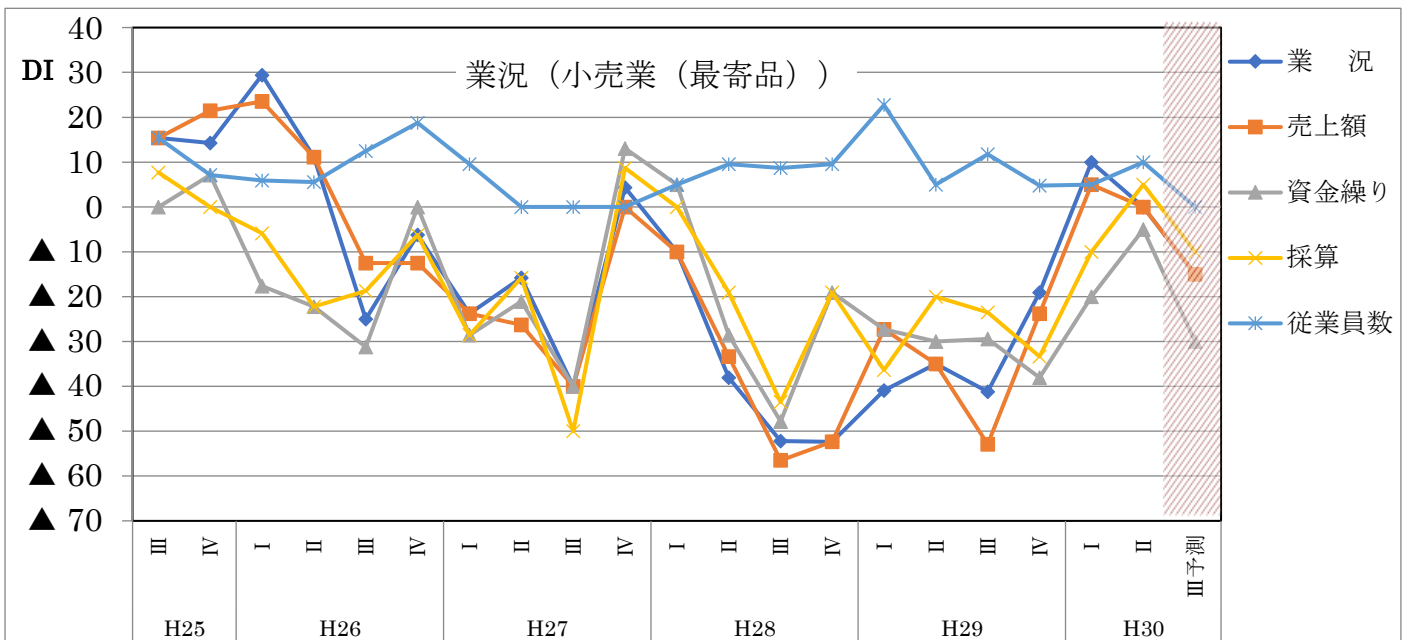
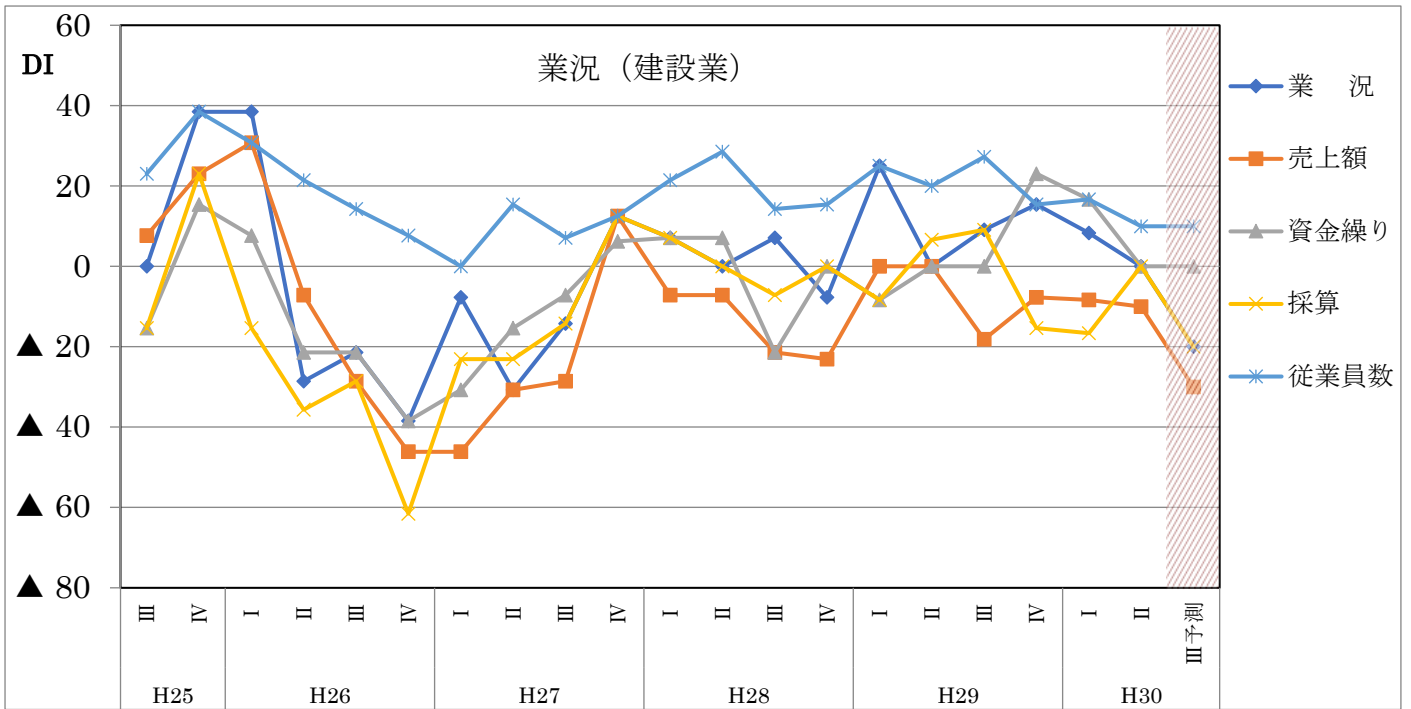
□設備投資の動向 説投資件数は、OA機器3件、機械設備2件、建物2件です。

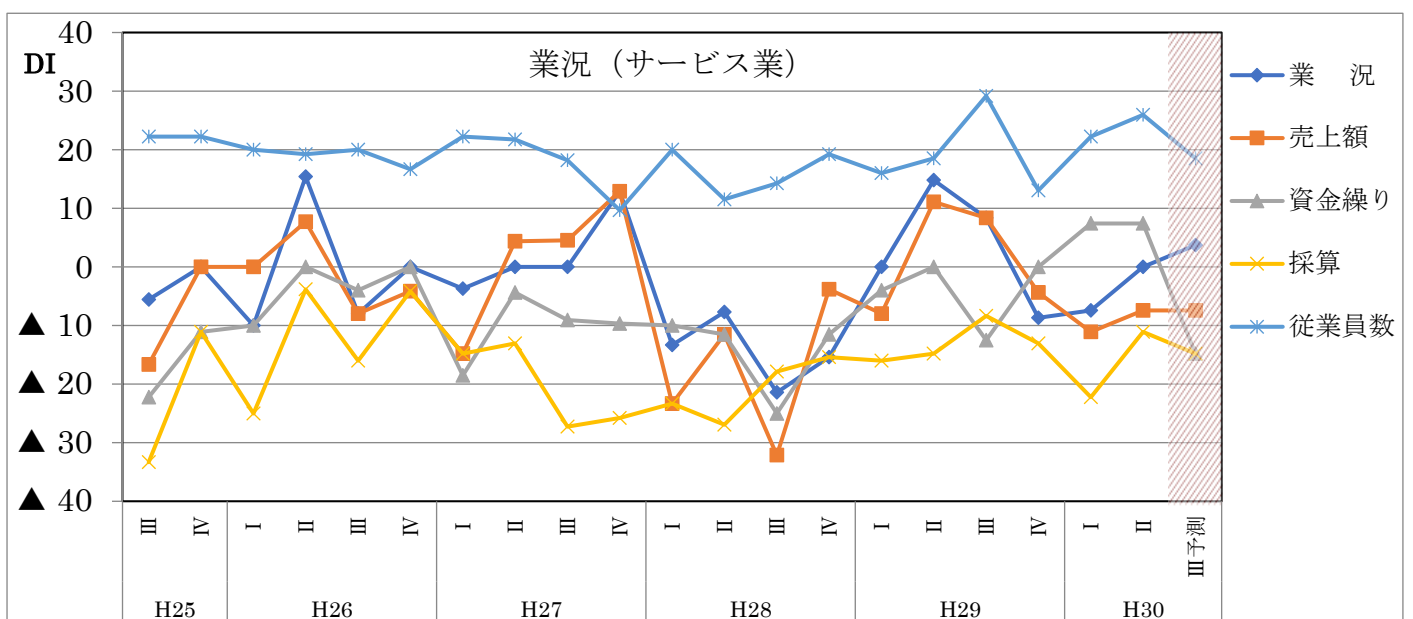
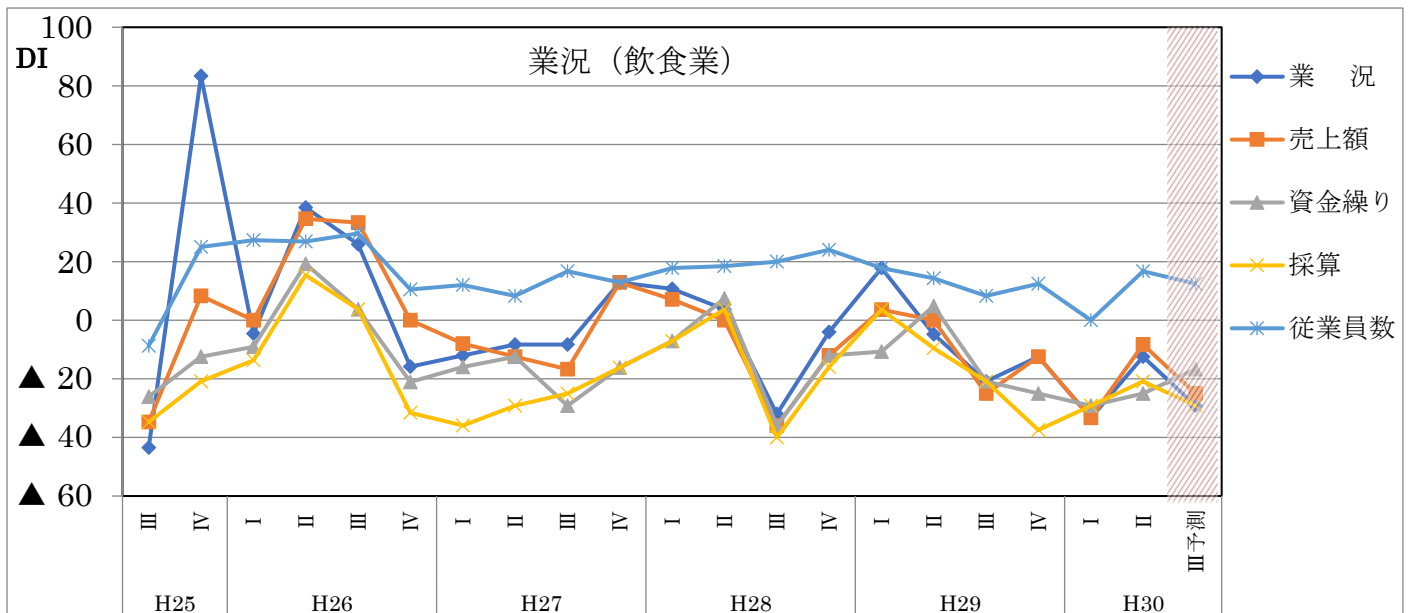
### □経営上の問題点



《資料》5年分の推移







□設備投資

全業種	H25		H26		H27		H28		H29		H30										
	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III予								
OA 機器	4	7	14	15	8	6	6	3	6	6	9	12	6	9	6	11	3	6	6	9	2
機械設備	4	4	3	8	8	7	3	3	4	5	3	4	6	6	6	6	8	6	5	6	6
車輛運搬具	3	4	11	6	6	6	8	7	5	5	7	5	8	5	1	6	5	5	1	3	3
建物	5	2	4	5	5	6	8	6	6	5	3	4	5	5	4	4	5	5	3	6	8
その他	2	1	1	3	2	0	2	2	1	1	2	4	2	0	0	4	1	3	1	0	0

製造業	H25		H26		H27		H28		H29		H30										
	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III予								
OA 機器	1	2	4	4	2	1	1	0	3	3	0	1	2	2	1	0	1	0	0	1	0
機械設備	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	1	1	0	2	0	1	2	1	2	0	2
車輛運搬具	0	1	1	0	1	1	1	1	1	2	2	0	2	1	0	2	1	0	0	1	0
建物	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0

